

公孫樹

2022年4月発行

第123号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726

十五年間、「てらこや塾」へのご支援、ありがとうございます。
四月から、「てらこや塾」は、変わります。

「一会館」を枕経、出棺もできる施設に整備します。



西里定一 作

三月二十九日、「てらこや塾」では、四人の卒業生を送る会が開催されました。四十三人の参加がありました。直後の総会では、「無言塾」への入塾希望者は三名。絵画・茶道・英語教室、個別授業への希望は高校生も含めて若干名です。

大人への日本語支援・ベトナム中高校生の来日は、コロナが終息すれば復活できます。しかし、「てらこや塾」すべての活動が有料に変わります。保護者にとって無料か、有料かは大きなハードルとなります。

にもかかわらず私たちは、あえてこの決断をしました。六回にわたり無償で招聘したベトナム中高校生たちは、スカラシップの会が六年間で幕を閉じて、その後二年間、全費用を自分たちで支払って、日本語学習を求めて来日しました。

求めること、自分で道を見つけて、その道を切り開いていくこと、いま問われているのはこの「力」です。会員として、お金も出して、労力も使って、一人ひとりの力を寄せ合って「てらこや塾」を残せなかつたら、それまでのことだと思っています。

卒業生の一人が、「私は凄く問題児でした」と書きながら、お礼の手紙をくれました。「二年間ありがとうございました。てらこや塾で、私は沢山の幸せをもらいました、...いままでもない友情と愛情をもらい...沢山の仲間たちと楽しい二年間を送れました...」。まだまだ開拓しなければならぬ原野が広がっています。

「てらこや塾」の改変に伴い、「一会館」を、葬儀のために利用できる施設に整備します。病院や施設から、ご遺体を直接「一会館」にお運びいただき安置していただけます。枕経、出棺回向、出棺が、「一会館」でできます。通夜は、ご希望にそって、本堂か「一会館」の、どちらかで行います。本堂での通夜は火葬が先になります。葬儀は本堂にて行います。使用料は一日、一万五〇〇〇円です。

4月の行事予定

| | | |
|----------|---------------------------------------|---|
| 6日(水) | 写経 | 午前10時～ |
| 10日(日) | 花まつり・子ども会 「人形劇団どむならん」 | 午前10時～ |
| 13日(水) | 落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風 | 午後7時～ 一会館にて 無料 |
| 20日(水) | 健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生 | 午後1時～ 参加費500円 |
| 25日(月) | 戦没者慰霊 | 午前11時～ |
| 27日(水) | 男性詠唱隊 地藏講 | 午後1時半～3時半 午後1時半～3時半 |
| 14日(木) | ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生 | 午前10時～11時半 午後1時半～3時 参加費1000円 |
| 8日22日(金) | 茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生 | 午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 子ども 無料 大人 500円 |

慶蔵院豆知識

(20)



「春の小川は、さらさら流る、岸のスミシヤレン
ゲの花に：」。 「菜の花畠に、入り日薄れ、見渡す山
の端、かすみ深し：」

折々に、忘れかけていた昔の唱歌を口ずさみ、癒さ
れ、気分を一新しながら生活してきました。

お彼岸も過ぎ、いよいよ春本番、暖かい季節となり
ました。

この度は任職の体調について、色々ご心配をおか
けしております。日々健康の回復に努め、元気に、お
彼岸の準備や中日法要を務めさせていただくことがで
きました。週二回の通院のため、留守になる日には、
何かとご迷惑をおかけしますが、よろしく願いま
す。

ニュースで刻々と報道される大惨事、ロシア軍によ
るウクライナへの侵略。なぜ今、この時代にこのよう
な戦争が引き起こされるのか…。どのような問題であ
っても、話し合い平和的に解決していくことが、人類
がかつての対戦から学んだ教訓ではなかったのか…。
核兵器やサリンの使用など言語道断です。英知をあ
つめてやめさせなければなりません。

慶蔵院の釣鐘は、「平和の鐘」として、毎月二十五
日正午、戦没者慰霊法要後に撞かれています。釣鐘の
周りには戦没者の石碑が供養されています。満開の花
の元、英霊の声にこそ、静かに耳を傾けたいもので
す。

(栄子)



おしらせとおねがい



浄土宗新聞を無料で お渡しします！！

4月号読みどころ

1ページ「鐸声」…お釈迦様の言葉が、引用されています。ウクライナの平和樹立にむけて、お釈迦様の言葉に耳をかたむけてみませんか。

「他の識者の非難を受けるような下劣な行いを決してしてはならない。一切の生きとし生けるものは、幸せであれ、安穩であれ、安楽であれ」

「全世界に対して無量の慈しみの意を起こすべし。上に、下に、また横に、障害なく・怨みなく・敵意なき、慈しみを行うべし」

※ 10日(日)子ども会と花まつ

り

お待たせしました。人形劇団どむなら

んの公演です。ご家族皆さんでどう

ぞ。

花がある方はお持ちください。

新たな出発!

男性詠唱隊! 地蔵講!

法事に御詠歌をあげてくださった地蔵講の皆さんが、高齢化にともない、女性2人になってしまいました。檀信徒の皆さん、地蔵講に入っただけませんか。講員さんを募集しています。ぜひ参加ください。

月一回、男性詠唱隊と地蔵講が混声合唱団のように合同で練習をし、地蔵講の発展につとめていこうと、話し合いをつづけています。よい方向に進んでいます。

- 住職の健康回復への道のり (三)
- 週二回の施療をいただき、三月末の時点で身体に感じた変化は次のようなものです。
- ① 体重が五キロ減りました。
 - ② 耳鳴りが気にならなくなりました。
 - ③ がまんできない急な尿意がなくなりました。
 - ④ 信号の判別が楽になり、裸眼で新聞が読めます。
 - ⑤ 道路の白線の上を、まっすぐ歩けるようになりました。
 - ⑥ むくみが取れ、足袋がごそごそになってしまいました。
 - ⑦ 首まわりがやわらかくなり、細くなりました。
 - ⑧ 薬を止めて、尿酸をさげる挑戦をしています。



落語会「いちご亭」が始まります!! 無料です

今月から第2水曜 午後7時〜慶蔵院「一会館」にて

出演 南遊亭栄歌

安楽亭東風



面白かったら、お帰りの際に「おひねり」程度…箱に入れてください。

水盤に童形の釈迦花祭り

奥田 悦生

(「知恩」誌四月号「柳壇」に掲載)



ほんとうに
死ぬ時に
死んで往くことは
むづかしい事でも
苦しい事でもな
生きながら
死んで通る事か
むづかしいのだ
苦しいのだ
中野善英上人

今日、横井久美子さんのご主人、友寄秀隆氏より最新刊、御著書「人新世」と唯物史観」を送っていただきました。二十一世紀資本主義のもとでの「新しい民主主義革命」の理論的探究の書。「社会進歩の展望が見えにくい…時代閉塞を突破する科学的社会主義の理論的な前進のための…問題提起」の書のことです。勉強させていただきたいと思います。

横井さんの曲に「おれもしも死んでなかったら」がある。作詞は田島征三さん。一九六四年、神奈川県で起きた米軍戦闘機墜落事件の裁判闘争の中から生まれた歌だ。

「おれもしも死んでなかったら、ねじれた鉄骨をたたき延ばしてたぜ。おれもしも死んでなかったら、おやじをこんな目にあわせはしなかった。あの日工場に突然ベトナム帰りの飛行機が、俺の顔は燃えて燃え切ってしまったよ。…あの日俺のカルテには『炭化』と書いてあった、俺の顔はスミになっていたんだ。…あの日俺は病院でまだ生きていた。俺の肺だけは夜まで動いていたんだ…」

人は生物として必ず死を迎えることになる。寿命が尽きれば死を免れることはない「本当に死ぬ時」とは、寿命が尽きた時のことだ。しかし寿命が尽きても死なないのが念仏の道。南無阿弥陀仏と称えるものは、死んで極楽に生まれる。往生する。だから苦しい事も、むづかしい事もない。寿命が尽きるまで、南無阿弥陀仏の内に、育てられ・導かれ・護られ・救われていく。そして寿命が尽きた時、極楽に救い摂られる。

誰しもに与えられた寿命が、戦争や戦時下と同じような事故で断ち切られてしまうことは、許されない。殺されることだ。「生きながら死んで通る事」とは、黙っていることだ。見て見ぬふりをして通り過ぎていくことだ。戦争を許していくことだ。「死んでなかったら」叫びたいという思いを、生命あるいまこそ、叫ばなければならぬ。ウクライナに平和を。